



“母がつくるまちだから” “子育てしたくなる街・町田”の魅力を“ママ目線で”伝える 「まちだ子育てブランドブック」 冊子の配布開始にあわせ、本日よりWEB上にて誌面データを公開



町田市は、「まちだシティブロモーション」の一環として、未就学児を持つ母親をコアターゲットとした“子育てしたくなる街・町田”を市内外に発信する小冊子「まちだ子育てブランドブック」を制作しました。本日11月15日(火)から、小冊子の配布を開始すると同時に、「まちだ自慢」公式WEBサイトにて誌面データを公開します。

＜「まちだ自慢」公式WEBサイト 「まちだ子育てブランドブック」公開ページ＞
<http://machida-jiman.jp/life/> ※「まちだ自慢」で検索して下さい。

「まちだ子育てブランドブック」は、市内外の子育て層に、町田市での子育ての魅力を伝えることで、市外からの転入促進や、市内での子育て生活の魅力を再認識してもらうことを目的とした冊子です。まず手にとってみたくなるもの、町田市での子育てへの興味や憧れがふくらむもの、という狙いのもと、親しみやすいデザインや、写真を多用したビジュアルを採用しています。

「まちだ子育てブランドブック」概要

名称：まちだ子育てブランドブック
仕様：B5変形
発行部数：11,000部
配布開始：2016年11月15日(火)
配布方法：①町田市周辺エリア（市外）の幼稚園・保育園での配布
②町田市の子どもセンター（6ヶ所）に設置



町田に暮らすママたちと一緒に作った子育てマップ“まちだMAMAP”

特徴的なコンテンツである“まちだMAMAP”では、市内在住の未就学児の母親5名が、“MAMAP編集部員”として制作に参加。2度にわたる“MAMAP会議”を経て、実際に普段使っているお店や公園、子育て関連施設など、母親ならではの視点が盛り込まれた、“ママによるママのための”子育て情報マップが完成しました。その他、町田産の野菜を使ったレシピ紹介や、子どもと一緒に楽しめるイラストページを盛り込むなど、町田市での子育てについての興味や好感を醸成する「ブランドブック」として、市の魅力を多面的に発信します。



まちだMAMAP

町田市は、2014年から「市民が愛着を持って住み続けたいまち」「市外の人が何度でも訪れたいまち、住んでみたいまち」を目指し、シティブロモーションを行ってきました。今年度からは、新たに子育て世代への情報発信を重点施策に設定しており、「まちだ子育てブランドブック」の配布開始を皮切りに、JR横浜線や小田急線の車内での交通広告など実施し、町田市の魅力発信を強化していきます。

「まちだ子育てブランドブック」主な内容

町田のお母さんいろいろストーリー(P7~10)

町田市で暮らし、働きながら子育てをしている母親3名のインタビュー記事です。雑貨店、農家、ライターと、仕事も町田市にやってきた経緯も様々な3名のエピソードを通じて、「町田市で子育てすること」の具体的なイメージと共に、町田市での生活の魅力を伝えます。



まちだMAMAP(P13~18)

市内で子育てをしている母親5名が、“MAMAP編集部員”として意見・アイデアを出し合い、町田市の子育てマップを制作。実際に母親たちが利用している地元のお店や公園、子育て関連施設などを、「食」・「遊」・「学」の3カテゴリに分類し、地域ごとに紹介します。MAMAP会議の様子や、まちだMAMAP完成までのストーリーも、写真と共に紹介されています。



お母さんと子どものまち☆ベジ重ね煮レシピ(P19~21)

地産地消を推奨する町田市産の農産物ブランド「まち☆ベジ」を、大人も子どももおいしく食べられる方法を提案。重ね煮料理家の藤原恵美子さんが、野菜の皮をむかずに少量の水と塩のみで味付けする「重ね煮」を活用した、肉じゃがや味噌汁、ハヤシライス等のレシピを紹介します。



「まち☆ベジ」とは
 市内の農業者、または市内に農業経営の拠点がある農業者が生産した、新鮮な農産物を「まち☆ベジ」として、地産地消をすすめています。JA町田市のアグリハウスや直売所で購入できます。

